

## 平成27年度 第3回 社会教育委員の会議 摘録

- 【日 時】 平成27年11月25日（水）午後1時00分～2時50分
- 【場 所】 生涯学習支援センター 1階 多目的室
- 【出席委員】 古賀（靖）、山本、櫻木、堺（婦）、笹井、中河原、古賀、江崎、浦、松永、大場、柿川、岡本（敬称略）
- 【欠席委員】 平河、堺（裕）（敬称略）
- 【行政関係者】 岡田市民協働部調整監、中村地域コミュニティ推進課長、高口生涯学習課長、平野生涯学習課青少年担当課長、池田スポーツ推進室長、栗林地域コミュニティ推進課青少年教育担当職員、古家地域コミュニティ推進課社会教育主事、上田同課社会教育担当職員

### ◆あいさつ

岡田市民協働部調整監

### ◆報 告

#### 1 平成27年度南筑後地区社会教育委員交流会について

配布資料『研修会参加報告書』に基づき、柿川委員、堺（婦）委員より報告。

#### 2 平成27年度「通学合宿支援事業」の実施について

配布資料『平成27年度「通学合宿支援事業」の実施について（実績報告）』に基づき、中村地域コミュニティ推進課長より説明。以下の意見が出た。

委員	大牟田校区では、子どもの参加者数が21名に対しボランティアが45名と大変多くの方々が協力されていることがうかがえる。以前、参加する子どもが多く運営側が大変だったが、ボランティアが多いことは良いことだと思う。
委員	上内校区は、長い間実施されてきているが、何か効果が見えているか。
行政関係者	小学校やPTA、まち協などの協力体制もあり、事務作業も含めて、市からの支援はほとんど必要なく、実行委員会のみでの運営ができています。通学合宿に参加することが、子ども達の間でも定着しており、学校の年間の行事の一つのような位置づけにまでなっている。
委員	大川市は、全地域で通学合宿が実施されたという話を聞いた（市の大きさの違いはあるが）。

#### 3 第68回成人式の実施について

配布資料『第68回 成人式実施要項』に基づき、中村地域コミュニティ推進課長より説明。以下の意見・質問が出た。

議長	昨年度の成人式で何かトラブル等は起こらなかったか。
----	---------------------------

行政関係者	残念なご報告となりますが、式典終了後、会場見回りの際に男子トイレの扉が壊れているのが発見された。式典前には異常が見られなかったため、参加者の影響があったのではないかと思われる。
委員	玄関前で騒ぐ、お酒類を持っている等の行動はあるが、注意をすれば素直に聞いてくれていた。何年も参加させていただいているが、物を壊すというのは初めて聞いた。
行政関係者	会場やロビーやホワイエなどで大声を出す等、問題行動を起こす参加者はいなかった。扉が壊れていることは点検を通して初めて分かった。 なお社会教育委員の皆様には、本日成人式の案内をお渡ししております。
行政関係者	大牟田文化会館は今年度12月まで、大ホールのリニューアル工事を行っている。来年1月の成人式ではリニューアル後の大ホールでの成人式となる。
委員	毎年、ガールスカウトはボランティアとして参加させていただいており、今年度も参加させていただく。高校生のボランティアは今年もいるのか。
行政関係者	市内の高校に、新成人の案内や来賓の方の案内をしてもらうボランティアを呼びかけている。今年も市内の高校からご協力の返事をいただいている。三池高校と大牟田高校、有明新世高校からご協力していただけることとなっている（人数は確定していない）。
議長	いつもボランティアの方々は礼儀正しく案内してくれる。
委員	数年後には成人式を迎える高校生が成人式に参加できることはとても良いことだと思う。

## ◆ 議 題

### 市公式ホームページにおける社会教育委員のメッセージについて

配布資料『市公式ホームページへの「社教育委員の会議」に関する記事の記載に係る委員からのメッセージについて』に基づき、中村地域コミュニティ推進課長より説明。以下のような意見が出された。

議長	PTA 関係の委員は、1年交代であるため、社会教育委員について分からない点も多いと思う。PTA の方の意見を聞きたい。
委員	PTA の代表は、1年で代表者が代わる。2年という任期をいただいても、子どもが学校に在学しなければPTAとして活動できない。勉強したいと思っても、1年ではなかなか厳しい。初めてのことで、大変良い経験をさせていただいているが、保護者にこちらで学んだことをどう伝えていくかが難しい。多くの方は「社会教育委員」が何をしているのか分からないため、ホームページで社会教育委員について掲載してもらうことで、保護者への説明等もスムーズにできるのではないかと思う。PTA 関係者も2年の任期を全うできるようになると、良いと思うのだが。引継ぎ資料で前任の方が

	<p>ら資料をいただくが、前任の方も1年しかしていないため、後任の方に十分に伝えるのは厳しい。社会教育委員について、一般の保護者に分かってもらえることが大事ではないだろうか。</p>
議長	<p>社会教育委員が初耳という方も多い。</p>
委員	<p>「社会教育委員」という名前すら知らない人が多い。</p>
議長	<p>市民の方に広報していくことが必要。</p>
委員	<p>昨年度まではおおむたっ子に「社会教育委員のメッセージ」として載せていた。特集記事や興味のあるページは見てもらえるのだが、中にはスルーされてしまうページすらある。編集の立場として、どうしたら多くの方の目に留まるか検討している。</p> <p>まずは手にとってもらえるように、今回初めて表紙に4コマ漫画を掲載した。今後社会教育委員をアピールしていくには、情報誌や外に出るなどしていく方法を考えなければならないと感じる。小学生の保護者に比べ小さい子どもの保護者にはなかなか手にとってもらえない。</p>
委員	<p>社会教育委員になって1年目だと、社会教育委員について・役割等分からないことが多い。事務局にお願いして、昨年度から任期を2年にしてもらった。自分自身が社会教育委員になったのは、通学合宿が始まった頃だったので、通学合宿の見学などをさせてもらうことで、課題が見えたり、地域の中の関係が見えた。まずは、「知ること」（他の委員の活動など）が大切ではないか。PTAの代表の方もいるので、機会があれば学校行事等も見学してみたい。何をしているのか分からない（教育委員会はホームページを見れば書いてあることも）、社会教育委員の情報はどこにあるのか分からない。ホームページで自分達がやっていることが見えることは良いことだが、自分達で動いていかないと見えないこともある。</p> <p>動くべき場所を行政とともに考え、動ける機会・場所を探していくべきではないだろうか。それぞれの委員が他の活動をしている現場を見学し、社会教育委員の会議の場を使って報告をすることで、知ることができるのではないか。研修は行かせていただいているのだが、なかなか動けていないと感じている。皆さんはどのように感じていらっしゃるか。</p>
委員	<p>市民が社会教育委員について知らない・分からない。他市町村の社会教育委員が市民とどう関わっているか分からないが、大牟田市の社会教育委員の会議の活動として、共通の課題を持って活動できないだろうか。特に市民を巻き込んだカタチで何かを行うことで、社会教育委員の存在と必要性について認識されるのではないだろうか。</p> <p>それぞれの立場で活動されている方々だが、他の委員がどのような活動をしているのか詳しく知らない。他の委員の活動を知ること、社会教育委員の会議として地域や学校とどうつながっていったらよいか、どういう行動をしたら良いかを考えることができるかもしれない。</p> <p>2年間の任期の間に、何か「社会教育委員」としてカタチあるものを残</p>

	せないだろうか。(時間等の制約もあるだろうが)
委員	それぞれの団体について詳しく知らない。委員の間ですら共有できていないので、共有することは良いことだと思う。共有することで、協力できる機会ができるのではないだろうか。それぞれの地域で、アンビシャスなど個々団体では青少年教育事業は開催されているが、以前大牟田でされていた青少年教育の取組みがどんどんなくなっている。横のつながり(合同で何かできないか)を作りたい。大牟田市として子ども達をどう育てたいか等、一つの目標を持つことで大牟田市の青少年教育がよりよくなるのではないだろうか。大人には地区公民館など教育を受ける機会が多くあるが、子ども達は限られた機会しかない。
議長	学校側からの意見として何かあるか。
委員	学校以外の広く社会における教育を社会教育というが、生涯学習として見たときには、幼児期・学校そして成人教育というステージがあり、これらはつながっている。幼児期の問題というのは、家庭教育の問題、学校教育の問題、そしてPTAと関わりがある。家庭教育段階の親世代から子どもに十分な教育を行うことは厳しい。社会教育委員として何か大牟田市として軸となる共通な部分を持つことが必要ではないだろうか。例えば主たる部分に「高齢者問題」をおくならば、皆で見えていかなければならないとなった場合、子ども・親・働く世代も一緒になって何か考えなければならぬだろう。結果的に、子ども達が自尊感情・充足感を感じ、思いやりの心を持つ、安心して勉強できるなど、学校側も恩恵を受けることにつながるのではないだろうか。学校教育では様々な場面において「学力形成」に力を入れてしまうと、弊害が色んなところででてしまう。例えば学力を補うために無理して地域とつながろうとすると、子どもも落ち着いて地域学習に取り組めないなどの問題が出てくる。
議長	学社融合という言葉のとおり、学校教育と社会教育は連携している必要がある。
委員	土曜日をどう活用していくかという部分が、大きな課題。土曜日の有効な活用として、社会教育との連携が必要になってくる。
委員	私は体育団体から来ているが、(持論であるが)大牟田の子どもには小さいときからスポーツをしてもらいたいと考えている。我々はルールや秩序を守りながら生活しており、ルールを守ることをスポーツを通して身につけられないかと考えている。小さいときから知らず知らずにうちにルールを守ることを身につけさせるためにはスポーツが一番良いと考えている。ただ、スポーツになじみのない家庭をどう巻き込んでいくかが課題である。大牟田のスポーツクラブは、体育協会に所属しているのが29団体。それぞれで子どもに競技を教えている。専門的にスポーツをやっていくためだけでなく、友達と遊ぶこと、社会生活に必要なルールを守ることを学ばせるためにも子ども達にスポーツに関わってもらいたいが、どう徹底していく

	<p>かが難しい。</p> <p>社会教育委員の取組みとして、みやま市では挨拶運動を10年位前からされており、挨拶日本一の街を作ること为目标にされている。挨拶をするだけだが、市民全員で取り組むことで波及効果は大きい。しかしながら全員にスポーツをしてもらうように巻き込んでいくのは難しいと思っている。社会教育委員になって、社会教育の種類(分野)はたくさんあるが、全てを行うことができないため、いろんな団体と連携しなければ解決できない問題だと思う。</p> <p>大牟田のスポーツを発展させるには競技会がたくさんあるが、ひとつひとつの魅力ある競技を参加者が参加して良かったと、観客が見て楽しかったと思えるものを考えていく必要がある。</p>
議長	<p>スポーツ団体は29団体あるそうですが、例えばどのような団体があるのですか。</p>
委員	<p>陸上、野球、ソフトボール、柔道、剣道等、29団体ある。</p>
議長	<p>それぞれの団体は連携をしているのか。</p>
委員	<p>年1回総会を開いている。各団体の活動は体育協会として支援している。成長してからの教育は難しいので、なるべく小さいうちからスポーツを通して教育をしたい。</p>
行政関係者	<p>本日、配布されている「大牟田の教育」のP120に体育団体が掲載されている。大牟田はスポーツが盛んであり、市民体育大会という事業を開催している。体育団体が充実していることを生かし、スポーツ推進室でも、小さいうちからスポーツに親しむ機会を作ろうと、幼児と親と一緒に受ける「親子運動セミナー」を開催している。幼児には体を動かす楽しみを知ってもらい、保護者にはスポーツの大切さ、健康について考えてもらうきっかけになればと毎年開催しており、毎回定員に達するセミナーとなっている。地道ではあるが、子ども達にスポーツに興味を持ってもらうために取り組んでいる。</p>
委員	<p>それぞれの得意分野で活動している人が集まるからこそ、何か芯・軸となるものが必要ではないか。例えば「おおむたっ子」の編集も何名でされているかは分からないが、大変な労力が必要だろうと思う。どんな活動をされているのかわからないので、それぞれの分野で活動されていることを発信していくべきだと思うし、その上で芯・柱となるものを決める必要があるのではないだろうか。</p>
委員	<p>8名の編集員がいる。</p> <p>今回のおおむたっ子で取り上げた「見守り隊」は日ごろお世話になっているが、どんな方がされているのか保護者の方に知ってもらうために取り上げた。登下校見守りについて取材するまで知らないことも多かった(帝京大学の学生による見守りグループがいること等)。</p> <p>ユネスコスクールについても、一般の保護者が分かるような内容の原稿</p>

	<p>を作ることが大変であった。</p>
委員	<p>各校区のどこに見守りの方が立たれているか、PTA や学校は知っているのか。それぞれの学校で、感謝を伝えることはしているだろうが、保護者にも徹底していくことが必要ではないか。</p>
委員	<p>見守りの方は後継者がいない（高齢者が多い）と言われており、編集委員も含めて、協力していくことが必要である。取材が終わって、自分の家の近くに見守りとして立つようになった編集委員もいる。</p> <p>今回取材した方は、今回おおむたっ子に掲載されたことで、近所の方に自分の家の近くだけでも見守りしてもらえるように依頼することができ（自分のしている活動が相手に伝えやすくなった）、載せてくださってありがとうございますと言われた。</p>
委員	<p>真ん中に柱・軸とありましたが、「小さいときから集団で活動すること」は、色んな分野に関わるのではないだろうか。どの分野を選ぶか（スポーツ・文化等）はひとそれぞれであるが、われわれが情報を皆さんに伝えていくことが必要ではないだろうか。重要なことは「小さいときから」。自分達に何ができるのかを考えていく必要があるのではないだろうか。</p>
議長	<p>つどいの広場で手伝いをしているが、小さい子ども達は活動を通して遊び方をはじめ、多くのことを学んでいる。</p>
委員	<p>芯が見えてきたのではないか？【小さいときから集団の中で活動すること】は大きなキーワードではないだろうか。</p>
行政関係者	<p>様々なご意見を頂いたが、共通する部分が見えてきた。昨年度は、計画などの説明が多く、委員対行政のやり取りは多かったが、委員同士での協議の機会が少なかったように感じていた。本日の会議で出た意見等はまとめて、次回会議でホームページの案を提案したいと考えている。</p>

## ◆その他

⇒次回会議 平成28年2月3日（水）13時00～予定